



第74回国民体育大会

翔べ 羽ばたけ そして未来へ

# 第74回大会 TEAM FUKUOKA NEWS



福岡県選手団サポートニュース

R1.9.14(土)Vol.3

## 大洗のビーチに福岡の若い風が吹く！

今年より成年種別から少年種別となったビーチバレー競技が大洗町大洗サンビーチ特設会場で行われた。少年女子は、永井栄選手、檜橋舞依選手（共に育徳館高校）が出場。13日（金）に行われた予選リーグにて秋田県、福井県と対戦し、善戦したものの予選リーグ敗退という結果に終わった。田崎監督は、「2人とも頑張ってくれた。次のステージで戦わせてあげたかった。」とコメント。粘り強いプレーを見せただけに、非常に悔しい結果だ。少年男子は、甲斐貴大選手、佐藤凜和選手（共に八幡高校）が出場。予選リーグ一回戦は愛媛県に挑んだが、28対24で惜敗。しかし、14日（土）決勝トーナメントをかけた秋田県との二回戦を28対11で勝利し、決勝トーナメント進出を果たす。さらに、迎えた岡山県との決勝トーナメント一回戦を、セットカウント2対0で見事に勝利。15日（日）に行われる決勝トーナメント二回戦に駒を進めた。次の戦いで勝利を收めれば8位以内の入賞は確定する。この勢いのまま福岡の若い風を大洗のビーチに吹かせてもらいたい。そして、会場を賑わせていたのは、少年男子を応援する八幡高校卒業生等による応援団の声援だ。他のどの県よりも大きな声援で、福岡の勝利を予感させる雰囲気を与えてくれた。この勢いのまま、入賞の追い風を吹かしてくれるに違いない。

## 昨年の自分を超えた！水泳競技、石原愛依選手優勝！

14日（土）から笠松運動公園屋内水泳プールで行われている水泳[競泳]競技で、福岡の競泳チームが大会初日から勢いを見せている。昨年、福井国体において少年女子A200m平泳ぎで2位に入賞した石原愛依選手（柳川高校）が、茨城の地で念願の優勝を果たした。それだけにとどまらず、全体では、個人種目とフリーリレーにおいて多くの入賞を果たしている。【※詳細右表】更に、目を見張るのは個人種目2名、リレー種目2種目（赤字で記載した選手）と多くの中学生が得点に絡んでいることである。この結果だけで考えても、ジュニアの層の厚さが伺えるとともに、来年行われる鹿児島国体での好成績が期待できる。15日（日）、16日（月）と競技が残された中、福井国体で62得点をたたき出した福岡県の水泳競技チームがどこまで得点を伸ばすことができるか、大変楽しみである。

## 体操[競技]少年男子決勝進出決定！

13日（金）で体操[競技]予選がすべて終了し、結果13位となり、少年男子が決勝進出を果たしている。14日（土）には成年男子決勝が行われたが、悔しくも入賞とはならなかった。是非ともこの借りを返すべく、15日（日）に行われる少年男子決勝において最高の演技を見せて、8位以内入賞を勝ち取ってもらいたい。



ビーチバレー少年女子チーム



ビーチバレー少年男子チーム



少年男子応援団の皆さん

種別・種目	氏名	所属	順位
少年女子A200m平泳ぎ	石原 愛依選手	柳川高等学校	優勝
少年男子B100m自由形	小山 陽翔選手	東福岡高等学校	4位
少年女子B100mバタフライ	三村 はるな選手	春日市立春日野中学校	5位
少年女子A200m背泳ぎ	井上 結貴選手	福岡県立宗像高等学校	6位
少年女子B100m自由形	森田 真心選手	福岡市立板付中学校	7位
成年男子200m個人メドレー	宝田 康平選手	東洋大学	7位
成年女子100mバタフライ	植野 夷音選手	日本体育大学	8位
少年男子B4×100mフリーリレー	池上 泰正・竹原 秀一・小山 陽翔・原 空輝選手		4位
少年女子B4×100mフリーリレー	森田 真心・三野 晴菜・神武 ゆら・小山田 季未選手		8位

